

自分を守る！

ビジネスにつなげる！

社会貢献をする！

13 レジリエンスに特化した商品やサービスをつくっている例 / その他の事例

1.

2.

3. その他防災関連事業者

4.

小礫径にも対応可能な新型の透過型鋼製砂防堰堤「グリッドネット」

事例番号 087

株式会社神戸製鋼所

■業種：製造業

■取組の実施地域：関東、東京、近畿

- 透過型堰堤は、流木の高い捕捉機能を有するとともに、中小出水時の土砂を流せることでポケットを維持できる特徴を持ち、土石流発生時には一基でコンクリート堰堤の倍以上の土砂を捕捉することができる。一方で鋼管構造のみによる透過型堰堤では、小礫径に対応するためには、透過部の開口率が下がるため、捕捉機能を発揮できず、実現不可能であった。
- 平成 19 年に土石流対策指針が改定され、透過型堰堤が土石流・流木対策施設の基本と位置づけられた。従来の鋼製透過型堰堤は対応が難しかった小礫径の土石流が発生する現場においても、透過型堰堤を計画する要望が多くなった。このため株式会社神戸製鋼では、鋼製透過型堰堤の上流にリング状ネットを組み合わせ、開口率を下げることなく小礫径の土石流に対しても優れた捕捉機能を発揮できる、新しい鋼製透過型堰堤「グリッドネット」の開発を行った。
- これまで鋼製透過型堰堤が適用できなかった溪流へも計画・施工が可能になることで、不透過型堰堤に比べて大きな計画捕捉量、流木の確実な捕捉等、透過型堰堤の機能が発揮でき、減災に貢献することが可能となっている。